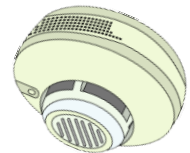


# 大掃除の機会に室内の安全対策をしよう

年末となり自宅の大掃除をしようと思っている方が多いかと思いますが、普段は動かさない家具・家電を動かす大掃除の機会に、「住宅用火災警報器の適切な維持管理」、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」及び「トラッキング火災の防止」を実施しましょう。

## 住宅用火災警報器の適切な維持管理

平成22年4月から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化され、10年以上が経過しました。古くなった住警器は電子部品の寿命などにより火災の時に作動しなくなることがあるため、住警器の点検を行うとともに**10年を目安に交換しましょう。**



## 家具類の転倒・落下・移動防止対策

家具類の転倒・落下・移動防止対策とは、地震の揺れで倒れるなどした家具や家電によるケガ等を防ぐために、家具類を固定したり、落下防止をしたりする対策です。

地震から大切な命を守るため、この機会に家具転対策を実施しましょう。



## トラッキング火災の防止

トラッキング現象による火災は、長期間コンセントに差込まれているプラグ部分に埃や湿気が溜まることで発生し、発見が遅れると思わぬ被害に繋がる場合があります。大掃除の機会にコンセントやプラグ周りなどを確認してみましょう。



# 冬季のガソリン・灯油の取扱いに注意しよう

これから冬場の乾燥した季節を迎えるに当たり、ガソリンスタンドでは静電気による火災の発生が危惧されますので注意しましょう。また、暖房機器の燃料として灯油を取り扱う機会も多くなりますので、安全な取扱方法を再確認しましょう。

## 石油ストーブを使用する際の注意事項

石油ストーブを消さずにそのまま手動ポンプで灯油を入れるなど、誤った取扱いにより火災になった事例が多く発生しています。



- 灯油を石油ストーブへ入れる時は、**必ずストーブを消し、カートリッジを戻すときは、蓋が確実に閉まっていることを確認しましょう。**
- 新型コロナウイルス感染症対策として消毒用アルコールを使用する機会が増えています。消毒用アルコールから発生する可燃性蒸気は空気より重く、思わぬ場所で引火し、火災に至る可能性があります。**ストーブの近くでの消毒用アルコールの使用は控えましょう。**